平成 31 年度 測量士補試験 問題と解答 水準測量 (No10)

<No10:水準測量>

	次のa~eの文は、水準測量における誤差について述べたものである。 ア ~ オ						
	に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。						
a.	レベルと標尺の間隔が等距離となるように整置して観測することで、 ア を消去するこ						
	とができる。						
b.	零点誤差は、標尺を2本1組とし、レベルのすえつけ回数を イ にすることで消去す						
	ることができる。						
C.	地表面付近の視準を避けることにより, ウ は小さくできる。						
d.	観測によって得られた比高に含まれる誤差は、観測距離の平方根に エ する。						
e.	球差による誤差は、 オ に整置して観測することで消去することができる。						
	7 / h +						

	7	1	ワ	I	才
1.	鉛直軸誤差	奇数回	地球表面の湾曲による誤差	反比例	レベルを前後の標尺を結ぶ直線上
2.	視準線誤差	偶数回	大気中の屈折による誤差	比例	レベルと標尺を等距離
3.	視準線誤差	奇数回	大気中の屈折による誤差	比例	レベルと標尺を等距離
4.	鉛直軸誤差	偶数回	地球表面の湾曲による誤差	反比例	レベルを前後の標尺を結ぶ直線上
5.	鉛直軸誤差	偶数回	大気中の屈折による誤差	比例	レベルと標尺を等距離